

復興を支える常磐自動車道①

迅速な復旧への支援

- 東日本大震災により盛土や橋梁部が大きな被害を受けたが、**約20時間後には緊急車両の輸送路を早期確保**。さらに13日後には一般車両も通行可能となり、**救援物資輸送・災害派遣に貢献**。
- 休憩施設を活用した**飲食物などの無料提供**を実施。

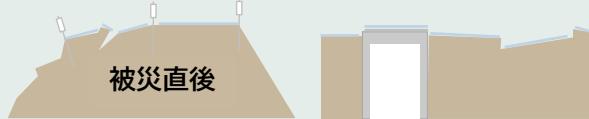
常磐自動車道の復旧

2011年

<3月11日>
14:46

地震発生

- ◆常磐自動車道を中心とした交通支障の被害が発生
約167km区間で被害
(谷和原IC~谷田部IC、土浦北IC~いわき勿来IC、いわきJCT~常磐富岡IC)
- ◆通行止め実施後、緊急点検を開始

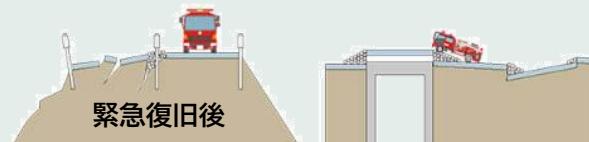


<3月12日>
11:00頃

緊急復旧

地震発生から**約20時間後**

- ◆土のうなどにより、緊急車両の交通を早期確保

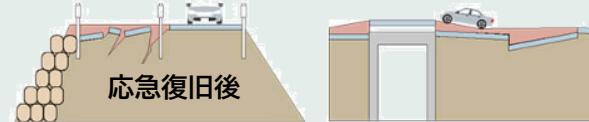


<3月24日>
6:00頃

応急復旧

地震発生から**13日後**

- ◆一般車両が制限付きで安全に走行できる路面レベルを確保
- ◆常磐自動車道の一部※を除き一般開放 ※いわき中央IC~常磐富岡IC



<8月31日> 国道6号 全線通行可能

休憩施設の活用

休憩施設のテナントが飲食物などの無料提供を実施。
また四倉PAでは災害派遣部隊の進出拠点としても活用。

休憩施設名	実施日	無料提供内容
四倉PA(上)	3/12-14、18	飲食物
中郷SA(上)		滞留車両用飲食物
東海PA(下)		飲食物
友部SA(上)		食料120人分、飲料100本
友部SA(下)		食料100人分、飲料100本
美野里PA(下)		マスク、カイロ等

【資料】NEXCO東日本資料



緊急車両輸送路を早期確保したことによる、復旧への効果は大きかったと考えています。



沿線自治体の声
ヒアリング結果
(2024年7月)